

英語
日本史
世界史
政治・経済
数学(文系型)
数学(理系型)
物理
化学
生物
正解・講評
国語

日本史

解答範囲は、解答番号 から までです。

I 次の文章を読み、後の問い(問1～問12)に答えなさい。

14世紀後半から15世紀にかけて、東アジア世界の情勢は大きく変わりつつあった。
モンゴル襲来後も、日本と中国とのあいだに正式な国交はなかったが、貿易船の往來はつづいていた。しかし、中国では、元にかわって建国された明が、近隣諸国に朝貢を求め、日本に対しても、入貢と倭寇の取り締まりをうながした。こうしたなか、室町幕府3代将軍足利義満は、将軍を辞した後も政治の実権を握り、明に使節を派遣して国交を求め、15世紀初めに貿易が開始された。

日明貿易は、明の皇帝へ朝貢し、その返礼として品物を受けとるという形式をとっていた。こうした朝貢形式を不服とした4代将軍の は、日明貿易を一時中断したが、その後、6代将軍となった足利義教はこれを再開した。15世紀後半、幕府の衰退とともに、貿易の実権はしだいに博多商人と結ぶ や、堺商人と結ぶ の手に移った。

朝鮮半島では、1392年に李成桂が高麗を滅ぼし、朝鮮を建国した。朝鮮は日本に対して倭寇の取り締まりを要求し、足利義満もこれに応じて日朝の国交が開かれた。これを機にさかんにおこなわれた日朝貿易は、幕府だけではなく、西国の守護や国人、博多の商人なども参加していた。そのため朝鮮は、対馬の を通じて通交についての制度を定め、貿易を統制しようとした。日朝貿易は一時中断することもあったが、活発におこなわれた。しかし、1510年に がおこると、日朝貿易はしだいに衰退へと向かった。

琉球では、12世紀頃から と呼ばれる豪族がグスクを拠点に争っていたが、やがて、山北(北山)・中山・山南(南山)の3つの勢力に統合されていった。1429年、中山王の は三山を統一し、琉球王国を建てた。琉球王国は明や日本などと国交を結ぶとともに、そのほかの諸国とも貿易をさかんにおこなった。

問5 下線部③に関して、日本が明から輸入したおもな品として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 生糸 ② 銅銭 ③ 硫黄
④ 書画 ⑤ 絹織物

問6 空欄 ～ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① ア=足利義持 イ=大内氏 ウ=細川氏
② ア=足利義持 イ=細川氏 ウ=大内氏
③ ア=足利持氏 イ=大内氏 ウ=細川氏
④ ア=足利持氏 イ=細川氏 ウ=大内氏
⑤ ア=足利義親 イ=大内氏 ウ=細川氏
⑥ ア=足利義親 イ=細川氏 ウ=大内氏

問7 下線部①の人物に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 父親は足利義満である。
Y 幕府に反抗的な堀越公方を討ち滅ぼした。
① X=正 Y=正 ② X=正 Y=誤
③ X=誤 Y=正 ④ X=誤 Y=誤

問1 下線部②に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 天龍寺造営の資金を得るために、貿易船が派遣された。
Y 新安沖で沈没した船からは、「東福寺」と書かれた荷札木簡が発見された。
① X=正 Y=正 ② X=正 Y=誤
③ X=誤 Y=正 ④ X=誤 Y=誤

問2 下線部⑤に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 前期倭寇は、老岐・対馬・肥前松浦地方の人びとを中心としていた。
② 明軍が、倭寇の本拠地を襲撃した応永の外寇がおこった。
③ 16世紀半ば、日明貿易が断絶すると、ふたたび活動が活発化した。
④ 『倭寇図巻』には、後期倭寇の様子が描かれている。

問3 下線部⑥の人物に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 義満によって建てられた相国寺は、五山の上に位置づけられた。
② 義満によって建てられた北山殿(北山山荘)は、のちに鹿苑寺となった。
③ 義満のもとで、義堂周信・絶海中津らが、水墨画を発展させた。
④ 義満のもとで、観阿弥・世阿弥父子は、正風連歌を完成させた。

問4 下線部④に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 1401年に派遣されたのは、義満の側近祖阿と、博多の商人肥富であった。
② このとき明の皇帝から「日本国王」と認められたのは、天皇であった。
③ 貿易には、幕府が発行する勘合の持参が義務づけられた。
④ 明に巡遣される使節の滞在費は、日本側が負担した。

問5 下線部③に関して、日本が明から輸入したおもな品として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 生糸 ② 銅銭 ③ 硫黄
④ 書画 ⑤ 絹織物

問6 空欄 ～ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① ア=足利義持 イ=大内氏 ウ=細川氏
② ア=足利義持 イ=細川氏 ウ=大内氏
③ ア=足利持氏 イ=大内氏 ウ=細川氏
④ ア=足利持氏 イ=細川氏 ウ=大内氏
⑤ ア=足利義親 イ=大内氏 ウ=細川氏
⑥ ア=足利義親 イ=細川氏 ウ=大内氏

問7 下線部①の人物に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 父親は足利義満である。
Y 幕府に反抗的な堀越公方を討ち滅ぼした。
① X=正 Y=正 ② X=正 Y=誤
③ X=誤 Y=正 ④ X=誤 Y=誤

問8 下線部⑥に関連して、以下の出来事(a～c)を、年代順に古いものから並べるとどうなりますか。適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- a 明応の政変 b 嘉吉の変(乱) c 応仁(・文明)の乱
① a→b→c ② b→a→c ③ c→a→b
④ a→c→b ⑤ b→c→a ⑥ c→b→a

問9 下線部④に関して、日本が朝鮮から輸入したおもな品として、適切なものを次のなかから2つ選び、解答番号9の欄を使用して2つの番号をマークしなさい。

解答番号

- ① 木綿 ② 香木 ③ 蘇木
④ 大蔵経 ⑤ 胡椒 ⑥ 銅

問10 空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① エ=宗氏 オ=明徳の乱 ② エ=蠣崎氏 オ=明徳の乱
③ エ=宗氏 オ=寧波の乱 ④ エ=蠣崎氏 オ=寧波の乱
⑤ エ=宗氏 オ=三浦の乱 ⑥ エ=蠣崎氏 オ=三浦の乱

問11 空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① カ=郷司 キ=尚泰 ② カ=郷司 キ=尚巴志
③ カ=所司 キ=尚泰 ④ カ=所司 キ=尚巴志
⑤ カ=按司 キ=尚泰 ⑥ カ=按司 キ=尚巴志

問12 下線部①に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 明や日本、朝鮮、東南アジア諸地域を結ぶ中継貿易で繁栄した。
Y 王国の都那覇の外港である首里を貿易の拠点とした。
- ① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤
③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

II 次の文章を読み、後の問い(問1～問12)に答えなさい。

17世紀前半、幕府の政策によって貨幣が安定的に供給された。金・銀・銭の三貨が統一貨幣として発行され、全国にいきわたると、中世以来、不安定だった貨幣の流通が安定した。貨幣の流通は、両替商によって促進され、商品経済の発展を支えた。

17世紀後半、社会が安定すると、江戸・大坂・京都の三都は、当時の日本列島でも突出した規模の人口をもつ大都市へと発展した。また、幕府や大名はこれより前、全国各地に城下町を建設していた。これらの都市に住む人びとの生活需要を支えるために商業が発展し、商品流通の全国市場が形成された。

三都や城下町では、問屋商人が商業や流通の中心となった。また、大量の物資を安価に運ぶために、水上交通が発展した。江戸の商人「ア」が、出羽酒田を起点とし江戸に至る東廻り海運・西廻り海運のルートを整備した。

この頃、三都の中でも、大坂や京都とその周辺では、町人を担い手とする文化が生まれた。たとえば、京都の呉服屋の出身の「イ」は、すぐれた意匠の蒔絵で知られ、八橋時絵螺鈿硯箱などの作品を残した。また、大坂の町人の出身の「ウ」は、「日本永代蔵」を著すなど、文学に新しい世界を開いた。また演劇では、江戸時代の初期からおこった歌舞伎が、三都を中心に、各地の庶民の間で流行していった。

問1 下線部②に関連する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 三貨の換算率は、金1両=銀50匁(のち60匁)=銭4貫文に定められ、実際の相場も変動しなかった。
② 丁銀や豆板銀などは、計数貨幣として使用された。
③ 17世紀後半、藩札を発行する藩があらわれた。
④ 金座・銀座は、徳川家光によって設けられた。

問2 下線部③に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X それまで中国銭に依存したり、悪質な模造銭などが使われていたりした。
Y 銭座が開設され、永楽通宝を大量に鑄造することによって安定した。
- ① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤
③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

問5 下線部④に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 大坂では、江戸時代前期から、おもに金貨が取引や貨幣計算の中心とされた。
Y 堂島の米市場は、米価を安定させるため、田沼意次によって幕府の公認とされた。
- ① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤
③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

問3 下線部⑤に関連して、次の史料は商家が江戸市中に配った広告ちらしの一部です。ここに記されている内容として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

駿河町越後屋八郎右衛門申し上げ候。今度私工夫を以て呉服物何に依らず、格別下直ニ売出し申し候間、私店江御出御買下さるべく候。何方様江も持たせ遣し候儀ハ仕らず候。尤 手前割合勘定を以て売出し候上は、^(一) 老 銭 にも空直申し上げず候間、御直ぎ利遊され候ても負ハ御座無く候。勿論代物は即座ニ御払下さるべく候。一銭にても延金ニハ仕らず候。以上

(無題古書 高俣写本)

- ① 顧客の家に向き、値引き交渉をして売る。
② 顧客が店に来訪したら、値引き交渉に応じる。
③ 値引き交渉をされても応じず、代金は期末に一括で受けとる。
④ 値引き交渉をされても応じず、即金払いで売る。

問4 下線部⑥に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 江戸日本橋が五街道の起点となった。
② 18世紀前半には、人口約10万人であった。
③ 江戸の遊郭は、社会の風紀を乱すとして、幕府に公認されなかった。
④ 「天下の台所」と呼ばれた。

問6 下線部⑦に関連する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 元禄期には、宮崎友禰が出て、友禰染を流行させた。
② 元禄期には、酒井田柿右衛門が出て、京焼の祖となった。
③ 絹織物では、西陣織が発達した。
④ 18世紀には、高機の技術が京都から上野桐生・下野足利など各地に伝えられた。

問7 下線部⑧に関して、織豊期から江戸時代の城下町に対する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 大名は、地子を免除することによって、商工業者を城下町に集めた。
② 城の内郭には武家地が配置された。
③ 町人地は、武士が町年寄に任じられて支配した。
④ 町人地には、都市機能を維持するための町人足役が課された。

英語
日本史
世界史
政治・経済
数学(文系型)
数学(理系型)
物理
化学
生物
正解・正解例
国語

問8 下線部⑥に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 大坂では、領主の蔵物や民間の納屋物が活発に取引された。
Y 都市では卸売市場が発達し、江戸では日本橋の魚市場、神田の青物市場などがあった。
- ① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤
③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

問9 下線部①に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 問屋の成立は、織豊期にさかのぼる。
② 問屋仲間の連合組織として、江戸に二十四組問屋がつくられた。
③ 天保の改革により解散を命じられた株仲間には、十組問屋も含まれていた。
④ 問屋制家内工業は、江戸末期までに衰退・消滅した。

問10 空欄

解答番号

- ① 角倉了以 ② 大蔵永常 ③ 河村瑞賢
④ 末次平蔵 ⑤ 高田屋嘉兵衛

問11 空欄

解答番号

- ① イ = 住吉如慶 ウ = 井原西鶴
② イ = 住吉如慶 ウ = 近松門左衛門
③ イ = 尾形光琳 ウ = 井原西鶴
④ イ = 尾形光琳 ウ = 近松門左衛門
⑤ イ = 土佐光起 ウ = 井原西鶴
⑥ イ = 土佐光起 ウ = 近松門左衛門

問12 下線部①に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 江戸の初期には、出雲阿国が京都で野郎歌舞伎をはじめた。
② 元禄期には、竹本義太夫の脚本による世話物が評判を呼んだ。
③ 元禄期には、荒事を得意とした初代市川団十郎が活躍した。
④ 化政期には、人形浄瑠璃の人氣に圧倒されるようになった。

Ⅲ 次の(1)・(2)の文章を読み、後の問い(問1～問16)に答えなさい。

(1) 1930年代後半、ヴェルサイユ体制を打破して新秩序を打ち立てる侵略政策をおこなっていたドイツは、日本に、日独伊三国防共協定を強化して、フランス・イギリスをも仮想敵国とする軍事同盟を結ぶことを提案した。第1次近衛文麿内閣は、この問題をめぐって閣内対立におちいって1939年1月に総辞職し、

同年5月、関東軍が満洲国とモンゴル人民共和国との国境線でソ連・モンゴル軍と衝突し、交戦がはじまった。日本側は壊滅的な打撃をこうむったが、そのさなかの8月にドイツとソ連が不可侵条約を結んだため、情勢判断の力を失った

内閣は総辞職した。その後、ドイツはポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が勃発した。ドイツが電撃戦でフランス・オランダなどを屈服させると、日本国内ではこれを好機としてドイツと同盟し、南進して石油などの資源を得ようとする主張が急速に高まった。第2次近衛文麿内閣は、積極的な南進政策をとるとともに、日独伊三国同盟を締結した。これらへの対抗措置として、アメリカは、日本への経済制裁を本格化させた。その後、日本政府は三国同盟にソ連を加えようとする構想の下で日ソ中立条約を結び、アメリカの動きを牽制しようとした。

問1 空欄

解答番号

- ① 林銑十郎 ② 平沼騏一郎 ③ 米内光政
④ 小磯国昭 ⑤ 斎藤実

問2 下線部②に関して、その事件名として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 張波峰事件 ② 西安事件 ③ ノモンハン事件
④ 濟南事件 ⑤ 盧溝橋事件

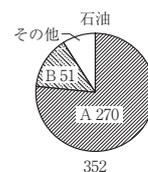
問3 下線部⑤に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 日本政府は欧州戦線に不介入の方針をとった。
Y 日本政府は中国国民政府に対して宣戦布告をした。
- ① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤
③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

問4 下線部③に関して、1940年における日本の石油の産出地域別輸入額の内訳を示したグラフ中のAにあてはまる語句として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号



(単位: 百万円)
(遠山茂樹・今井清一・藤原彰『昭和史(新版)』)

- ① オランダ領東インド ② 満洲国 ③ フランス領インドシナ
④ アメリカ ⑤ イラン

一般選抜入試(中期日程) 日本史(2月14日)

英語
日本史
世界史
政治・経済
数(文系型)学
数(理系型)学
物理
化学
生物
正解・正解例
講評
国語

問5 下線部④に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① ドイツに降伏したフランスなどの植民地を影響下におこうとした。
- ② 石油やゴムなどの資源を確保しようとした。
- ③ 援蒋ルートを遮断して、日中戦争の戦局を打開しようとした。
- ④ 東南アジアからソ連の影響力を排除しようとした。

問6 下線部③に関連する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 締結時のドイツの国家指導者はヒトラーである。
- ② ヨーロッパとアジアの「新秩序」における指導的地位を相互に認めた。
- ③ 締結とはほぼ同時に、日本は海南島へ進駐した。
- ④ 第三国からの攻撃を受けた際には、相互に援助しあうこととした。

問7 下線部①に関して、南進政策と日独伊三国同盟締結などへのアメリカの対抗措置に関する記述として、適切なるものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 屑鉄の対日輸出を禁止した。
- ② 在米日本資産を凍結した。
- ③ 石油の対日輸出を禁止した。
- ④ 日米通商航海条約の廃棄を日本側に通告した。

問8 下線部③に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 条約を締結した外相は松岡洋右である。
Y 1945年8月にソ連が日本に宣戦布告した時にはすでに無効となっていた。
- ① X = 正 Y = 正
 - ② X = 正 Y = 誤
 - ③ X = 誤 Y = 正
 - ④ X = 誤 Y = 誤

(2) 日本は武力による南進政策をとる一方で、それに反対するアメリカに対しては外交交渉で対立を調整しようとした。1941年4月以降、ワシントンで駐米大使 と国務長官 との間で日米交渉がおこなわれた。しかし、南部仏印進駐などによってアメリカの対日態度はさらに厳しくなった。危機感を募らせた軍部は「」の脅威を訴え、対英米戦の準備へと進んでいった。11月末、アメリカが仏印からの撤退などを要求する案を提示したため、東条英機内閣は交渉の打ち切りを決意し、御前会議での決定をへて、 12月8日、日本軍はハワイの真珠湾及び東南アジアを奇襲攻撃した。

開戦直後は戦線での勝利が相次ぎ、国民の多くは戦争を熱狂的に支持した。東条内閣は言論の自由などを制限して、軍部・戦争に非協力的な者を取り締まった。翼賛体制下の1942年の衆議院総選挙では、 非推薦候補が全議席の2割弱当選する一方、政府の援助を受けた推薦候補が絶対多数をとった。

その後、ミッドウェー海戦やガダルカナル島の戦いなど、日本軍の敗戦が続くなかで、東条内閣は占領地の人びとの対日協力を確保するために大東亜会議を開催した。中国戦線は泥沼化し、 さまざまな残虐行為が各地でおこなわれた。その後、日本本土では空襲が相次ぎ、戦局は悪化の一途をたどった。

1945年7月、アメリカなどから ポツダム宣言が発表され、原爆投下、ソ連参戦のうちに、日本はこれを受諾した。敗戦後の日本への引揚げでは、多くの困難があり、戦争の影響は長く残ることになった。

問9 空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① イ = 野村吉三郎 ウ = ウィルソン
- ② イ = 野村吉三郎 ウ = ハル
- ③ イ = 野村吉三郎 ウ = フランクリン・ローズヴェルト
- ④ イ = 幣原喜重郎 ウ = ウィルソン
- ⑤ イ = 幣原喜重郎 ウ = ハル
- ⑥ イ = 幣原喜重郎 ウ = フランクリン・ローズヴェルト

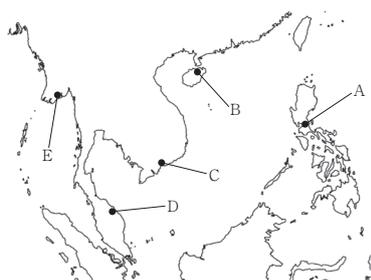
問10 下線部⑥に関して、その4か国にあたる国として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① オーストラリア
- ② 中国
- ③ アメリカ
- ④ イギリス
- ⑤ オランダ

問11 下線部①に関して、東南アジアに上陸した位置を示す地図上の記号(A～E)として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号



- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

問12 下線部①に関して、非翼賛議員として当選した人物として、適切なものを次のなかから2つ選び、解答番号36の欄を使用して2つの番号をマークしなさい。

解答番号

- ① 芦田均
- ② 吉田茂
- ③ 鳩山一郎
- ④ 石原莞爾
- ⑤ 広田弘毅

問13 下線部⑤に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X この会議には、タイ・ビルマ・満洲国・台湾などの日本を支持する各国の代表者が参加した。
Y この会議で、「東亜新秩序」が新たなスローガンとして掲げられた。
- ① X = 正 Y = 正
 - ② X = 正 Y = 誤
 - ③ X = 誤 Y = 正
 - ④ X = 誤 Y = 誤

問14 下線部①に関連する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 細菌戦研究の特殊部隊である731部隊が満洲におかれた。
- ② 抗日ゲリラに対して、日本側は殲滅作戦をおこない、中国側から「三光作戦」として批判された。
- ③ 中国国民政府と協力して、中国共産党員の虐殺をおこなった。
- ④ 日本軍は作戦遂行のために化学兵器を使用した。

英語

日本史

世界史

政治・経済

数学(文系型)

数学(理系型)

物理

化学

生物

正解・正解例
講評

国語

問15 下線部⑥に関して、次の史料はポツダム宣言の抜粋です。史料の空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

八、 の条項ハ履行セラルヘク、又日本国ノ主権ハ本州、北海道、九州及四国並ニ吾等ノ決定スル諸小島ニ局限セラルヘシ

十、吾等ハ日本人ヲ民族トシテ奴隷化セントシ、又ハ国民トシテ滅亡セシメントスルノ意図ヲ有スルモノニ非サルモ、吾等ノ俘虜ヲ虐待セル者ヲ含ム一切ノ戦争犯罪人ニ対シテハ、嚴重ナル処罰ヲ加ヘラルヘシ。日本国政府ハ日本国国民ノ間ニ於ケル民主主義的傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙ヲ除去セシ。言論、宗教及思想ノ自由並ニ ハ確立セラルヘシ

(日本外交年表並主要文書)

- ① A = 「ヤルタ」協定 B = 平和主義
- ② A = 「ヤルタ」協定 B = 国民主権
- ③ A = 「ヤルタ」協定 B = 基本的人権ノ尊重
- ④ A = 「カイロ」宣言 B = 平和主義
- ⑤ A = 「カイロ」宣言 B = 国民主権
- ⑥ A = 「カイロ」宣言 B = 基本的人権ノ尊重

問16 下線部⑥に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

X 満洲地域の居留民の子どものなかには、両親との死別などの理由で残留孤児として現地に残り残された者もいた。

Y ソ連に拘束された日本人のなかには、シベリアの収容所で何年間も強制労働に従事させられた者もいた。

- ① X = 正 Y = 正
- ② X = 正 Y = 誤
- ③ X = 誤 Y = 正
- ④ X = 誤 Y = 誤